

2022年度事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表伊達事業所 実施人数6名

			はい		どちらとも いえない		いいえ		未記入		改善目標 工夫している点など
			人	%	人	%	人	%	人	%	
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導 訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	17	4	67	1	17	0	0	書類上は適切です。ワンフロアで見やすい。 運動場はもう少し広い方が良い。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	100	0	0	0	0	0	0	基準より配置人数が多く適切です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	100	0	0	0	0	0	0	バリアフリーになっていてトイレ2か所中1か所は、車椅子対応です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	事業者内で支援会議を行い職員が参加し相談しながら進めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	100	0	0	0	0	0	0	毎年1月下旬にアンケートを配布し、2月に集計し意向を知り話し合い結果を公表している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	毎年2月下旬に自己評価の結果を、ホームページやいぶきつうしんで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	83	1	17	0	0	0	0	第三者評価は設けていないが他の事業所の人が評価している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	内部研修、外部講師によるzoomの研修、外部の研修に参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	送迎の際や担当者会議の際に保護者と話し合い、立案している。

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	jmap、LD児等チェックリスト、Jsir等のツールを用いている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	話し合いを行い、意見を集約し立案をしている。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	その日の子ども達や状況を踏まえ、固定化しないようにしている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	平日、休日などそれぞれに応じて計画を立て、それに応じて細かく課題を設定している。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	個別課題、サーキットトレーニングやグループワークなどの小集団での課題等をいろいろ組み合わせ計画を立てている。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	全体朝礼の後、前日の保護者からの連絡や、引継ぎ事項を話し、その後前日の反省を行い、療育の計画、子ども達への配慮の仕方、送迎の方法など話し合い、役割の分担や支援の仕方を確認している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	送迎終了後、その日の療育を振り返り、気づきや反省点など振り返り、情報を共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	100	0	0	0	0	0	0	日誌、ケース記録を記入し、その中に気づきや反省なども記入し検証改善に努めている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	原則として6ヶ月に1回モニタリングを行い計画の見直しを行っている。必要に応じて6ヶ月以内でも行う事もある。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	ガイドラインをいぶきの療育内容と照らし合わせ、複数組み合わせ、支援を行っている。長期休業時は買い物体験、郊外療育なども取り入れている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	こちらから担当者会議に出向いたり、いぶきを会場に行き見守りなどが参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	Eメールで学校からの情報を発信して頂いたり、電話で連絡をいただき情報を交換し連絡の調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	17	5	83	0	0	0	0	医療的ケアの必要な児童は在籍していないが、入所した場合は連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	100	0	0	0	0	0	0	実際に見学に行き、担当者会議を行い相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	就労支援事業所、生活介護事業所へ、情報を提供しようとして準備などを進めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	0	6	100	0	0	0	0	新型コロナウイルスの関係で今年度は研修などは行っていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	5	83	1	17	0	0	新型コロナウイルスの影響で今年度は実施を控えている。

保護者への説明責任等

27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	いぶきグループで代表が出席し、報告を受け、それに応じた会議を行い、意見等を届けてもらっている。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	送迎の際に子どもの様子を伝えたり、成長や変化のあった時は随時伝え共通理解を図っている。連絡帳を用い子どもの様子を伝えている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	必要に応じてアドバイスやトレーニング等を実施している。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	契約、モニタリングや更新の際に説明をしている
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	相談をいつでも受ける体制を取り、随時行い、助言やアドバイスを行っている。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	0	0	6	100	0	0	新型コロナウイルスの関係で、今年度 保護者を交えての交流イベント等は、控えていた。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	迅速にかつ、平等に対応出来るように配慮し、担当者をいぶきの中の別事業所の職員が受け持つ様にしている。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	年に4回いぶきつうしんを発行し、事業所の様子や子どもたちの様子などを知らせてきた。
35	個人情報に十分注意しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	職員が就職した際に、個人情報に対する契約書を交わし、更にミーティングの中で注意喚起をしている。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	100	0	0	0	0	0	子どもに応じた意思疎通、保護者に応じた意思疎通を行い情報伝達がスムーズに進む様にしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	0	0	6	100	0	新型コロナウイルスのため、実施を控えている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	100	0	0	0	0	0	契約、モニタリング、更新の際に伝え活玄関にマニュアルを提示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	年に2回避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	100	0	0	0	0	0	年1回外部講師を招き虐待防止の研修を行い、ミーティングの際に注意喚起を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	100	0	0	0	0	0	身体拘束が必要な児童は在籍しておらず、入所した際には計画作成し計画に記載する予。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	100	0	0	0	0	0	アレルギーの有無対応の仕方は契約時や、面談の際に保護者に聞き取りをし、フェースシートに急にして頂きたり、書面に残している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	100	0	0	0	0	0	0